

KIZUNA

通信

公益社団法人福島県柔道整復師会 機関誌

社団法人設立40周年記念式典・祝賀会 郡山市ビューホテルアネックスで開催されました

平成30年12月2日（日）午後5時00分から郡山市のビューホテルアネックスにて公益社団法人福島県柔道整復師会の社団法人取得40周年を記念して式典及び祝賀会が開かれ、関係者が節目を祝った。

遠藤寿之会長が「歩みを振り返り、さらなる発展へのスタートを切りたい」とあいさつした。佐藤武寿県医師会長、工藤鉄男日本柔道整復師会長らが祝辞を述べた。席上、長年功績のあった会員を表彰した。

式典に先立ち、工藤会長が「『柔整療養費の沿革』今昔と未来」と題して講演した。受賞者は次の通り。

◇社団法人設立40周年記念式典◇





事務職員



来賓者による鏡開きの様子



懇親会の様子

第27回 文部科学大臣杯争奪 日整全国少年柔道大会

平成30年10月7日講道館大道場において、全国47都道府県から48チーム240人の選手が参加し、熱戦が繰り広げられた。

優勝・兵庫県、準優勝・神奈川県、第三位・秋田県、愛媛県が栄光に輝きました。

福島県代表の郡山市柔道会は、岡山県と対戦し善戦、惜しくも敗退しました。

郡山市柔道会メンバー

大将 熊田煌虎くん 副将 宮永啓吾くん 中堅 後藤篤人くん
次鋒 吉田茜心さん 先鋒 小川大和くん 監督 青柳 匡



郡山市柔道会 団体戦

第8回 日整全国少年柔道形競技会

形競技会は、全国15ブロックの代表28チームで争われ、兵庫県が初優勝、準優勝は青森県、3位神奈川県、4位北海道。

安積柔道スポーツ少年団は予選5位で惜しくも決勝戦には進めませんでした、ハイレベルな素晴らしい演武でした。

取 鈴木 壮真くん
受 松本 峻くん
監督 佐藤 昭彦



安積柔道スポーツ少年団 形競技

厚生労働大臣旗争奪第42回日整全国柔道大会

1回戦から各試合場は接戦となり連覇の南関東A・Bが2回戦と初戦で敗れる波乱となった。東北チームは、1回戦四国に4対1で、準準決勝3対1で連勝し、準決勝で近畿に1対2で惜敗となりましたが、21年ぶりの全国3位に輝きました。優勝は近畿、準優勝北信越西部、3位東北、北関東。



日整会長 工藤鉄男



前厚生労働大臣 加藤勝信氏



東北ブロック会選抜チーム

挫折乗り越え医療の地位築く

北海道柔道整復師会会長 萩原正和

日本古来からの伝統医療である柔道整復術が国家資格となり、「整骨院」「接骨院」「ほねつぎ」が世間で開業されるに至るまでには、長い歴史があった。

柔道整復師が行う施術を柔道整復術というが、これに関する最古の記述は古事記にまでさかのぼる。

戦国時代、中国から来日した陳元賛は、中国少林寺拳法と、外傷に対する応急手当の「正骨術」を日本に伝えた。この拳法の一部は武術の柔術へ、正骨術は武術の外傷への手当てとして柔道整復術に発展、普及していった。

江戸時代にはすっかり民間に受け入れられ、けがは整骨、接骨、正骨など「ほねつぎ」で柔道整復術を施してもらう風習として定着した。当時、江戸では「名倉堂」の名が有名だった。

しかし、明治維新の西洋化に向けた文化革命で、伝統医療にも危機が訪れた。西洋からのものは「良し」とし、古い日本の伝統的なものは「悪し」という考えを政府が押し進めたのだ。その結果、柔道整復術は弾圧を受け、一方的に資格を停止された。

そのうえ、政府は柔道整復術を患者に施すことも禁じた。奥の柔道整復師が痛切な挫折を感じた。同時にけがをどこで治したらよいのか路頭に迷う患者も多かったと聞

く。この現状を打破しようと強い信念で立ち上がったのが、私の祖父の萩原七郎。柔道整復師だった。当時はまだ、柔道整復師による統一団体がなく、萩原七郎は行政が認めていない柔道整復術を公認してもらうべく、「柔道接骨術公認期成会」を立ち上げ、全国に散らばる有力な柔道整復師のところへ出向いた。そして、一人でも多くの柔道整復師と話し合う努力をして、同時に有力政治家にも働きかけた。

並大抵の決意や努力、体力ではできないことだが、祖父はその強烈な人柄で、人望と運氣、チャンスを味方につけたのだろう。

親しかった講道館創設者の嘉納治五郎師範の賛同を得て、日本中の関係者の悲願がかなって、1920（大正9）年、柔道整復術が医療として認められ、日本初の柔道整復師団体である「大日本柔道整復術同志会」が公認された。この団体は現在、公益社団法人・日本柔道整復師会に成長している。

柔道整復術の知名度はいま、日本だけにとどまらない。2002年、世界保健機関（WHO）で「Judo therapy」として、世界から注目を受ける存在になっている。



健康柔体操 波の形

五方当では右拳・左拳と片方ずつ行う形ですがそれを更にアレンジして5つの方向に波をイメージして両手を送るようにするのが波の形です。

Let's Try やり方



斜め前に押し出す波を表現します。斜め後ろに流れこむような波を表現します。前方より引き込むような波を表現します。後方から前方に押し寄せる波を表現します。上方に砕け散るようにはじける波をイメージしてゆっくりと大きく息を吐くように行ってください。続けて左足で踏み込む形を行っていきます。まず左右2回ずつ程度行ってみましょう。呼吸は吐くことをイメージしてやってみましょう。

この運動の効果

優雅で大きい運動ですのでこの運動だけをライフワークにさせていただきだけで運動不足解消につながります。特に全身のバランスと筋力の強化を図り呼吸法を組み合わせで行いますので心身の鍛錬としても効果が期待できます。

編集後記

各先生方の元気な姿を拝見することができ、多くの先生が参加されることを願っています。これからも良い充実した内容を届けられます様がんばっていきたく思います。